

2004 年度 統計関連学会 連合大会

主催

日本計量生物学会，日本統計学会，応用統計学会

協賛：日本計算機統計学会，日本分類学会，日本行動計量学会

1. 大会会場

富士大学（裏表紙案内図参照）

〒025-0025 岩手県花巻市下根子 450-3

電話 0198-23-6221（代）

E-mail: toukei@fuji-u.ac.jp

大会受付： メディア棟 2 階学生ホール

書籍，ソフトウェア展示，フリースペースのほか，岩手県統計グラフコンクールポスター展示，物産展示，観光案内のブースなども大会受付に併設されます。

講演会場： 6 号館 3 階，4 階，5 階，8 階

なお，フリースペースは，原則として，各学会の案内，大学，研究所の案内，さらにはさまざまな研究会の案内などを自由に置き，学会参加者への情報提供に活用していただくために設けます。この趣旨から大きく外れるものや，他のスペースを圧迫するような資料の展示はご遠慮ください。

2. 大会日程

- ・ チュートリアルセミナー（協賛：日本製薬工業協会） 9 月 3 日（金）13:00 – 15:00
- ・ シンポジウム（共催：日本学術会議統計学研究連絡委員会）9 月 3 日（金）15:15 – 17:15
- ・ 市民講演会 9 月 3 日（金）17:30 – 19:30
- ・ 研究報告会 9 月 4 日（土）9:00 – 18:00
- 9 月 5 日（日）9:00 – 17:10
- 9 月 6 日（月）9:00 – 14:20
- ・ 閉会式（表彰式） 9 月 6 日（月）14:30 – 14:50
- ・ 日本計量生物学会学会賞授賞式 9 月 4 日（土）12:10 – 13:10
- ・ 日本統計学会総会，学会賞授賞式 9 月 5 日（日）12:10 – 13:10
- ・ 各企業によるソフトウェア紹介セッション 9 月 4 日（土）13:10 – 15:20
- ・ 懇親会（花巻温泉・ホテル千秋閣） 9 月 5 日（日）18:00 – 20:00

3. 大会参加費

参加費はすべて大会当日受付でお支払ください。

- (a) チュートリアルセミナー（含資料代）：会員 2,000 円，学生 1,000 円，非会員 4,000 円
- (b) シンポジウム，市民講演会：無料
- (c) 研究報告会（含報告集代）：会員 4,000 円，学生 2,000 円，非会員 10,000 円
- (d) 懇親会：5,000 円

上記における「会員」は，日本計量生物学会，日本統計学会，応用統計学会のいずれかの会員，もしくは協賛学会の会員を指します。「学生」は会員，非会員を問いません。

4. コンペティションセッション

昨年度に引き続き本年度も，研究活動を開始して日の浅い会員の，より質の高い研究発表の奨励を目的としてコンペティションセッションを開催します。研究内容のみならず，いかにうまく内容を伝えられたか，質問に的確に答えられたかといった発表の仕方も含め評価の対象となります。審査はセッションへの出席者による記名投票によっておこないます。出席した連合大会参加登録者すべてに投票資格がありますので，本企画の趣旨をご理解の上，ふるってご投票ください。A+ から C - までの 9 段階で各報告者を評価していただきます。その結果をふまえ、連合大会主催 3 学会の会長、理事長相当の方にお集まりいただき授賞者を決定することにしております。なお，投票結果は投票者と審査対象者が特定できないような形式に直し，Web 上で公開いたします。また，各発表に対する評価の詳細はコメントとともに発表者にフィードバックし，今後の参考にさせていただきます。今年度は 2 日にわたるパラレルセッションとなりましたので，発表者はランダムに配置してあります。また，閉会式において，最優秀報告賞を 1 名に，優秀報告賞を 2 名に授与する予定でおりますので，ぜひこちらにもご出席ください。

5. その他

(1) 9 月 5 日（日）の懇親会前に大学構内で写真撮影を行ないます。撮影場所など詳細は大会開催時にお知らせいたします。

(2) 大会期間中，保育室が利用できます。利用を希望される方は連合大会ホームページ

<http://ajss.gr.jp/2004/Hoiku/>

をご覧ください。また，大会全般についての最新の情報が連合大会ホームページ

<http://ajss.gr.jp>

より入手できますのでご活用ください。

(3) 講演時間

一般講演およびコンペティションセッションでの講演は質疑応答を入れて 20 分です。企画セッションでの講演時間はセッションごとに異なります。

(4) 使用機器

各講演会場とも，オーバーヘッドプロジェクタ(OHP) および PC プロジェクタが使用できます。なお，PC プロジェクタに接続するパソコンは各自ご用意ください。

A会場(631) B会場(632) C会場(641) D会場(645) E会場(653) F会場(654) G会場(681)

9月3日
13:00 15:00
15:15 17:15
17:30 19:30

(チ)データマネージメントのプロセスとシステム
-臨床試験を例として-
(シ)事例中心に見る統計科学の現代的価値
(市)統計データが示す地域経済活性化の方策

9月4日
9:00 9:10
9:20 10:30
10:40 12:10
12:10 13:10
13:10 15:20
15:30 18:00

コンベンション実施要領の説明	コンベンション(1)	コンベンション(2)	コンベンション(3)				
インターネットとコンピュータ	昼休み	経済時系列分析	分割表解析	統計調査	官庁統計	推定論(1)	医学統計(1)
統計教育	統計教育	若企業によるソフトウェア紹介	MCMCの理論と応用	多変量解析(1)	ゲノム解析	昼休み	(日本計量生物学会賞授賞式)
(企)新しい教育環境における統計教育とカリキュラム・新時代における統計教育の標準化に向けて-	統計教育		(企)医薬品開発におけるQT延長の統計解析	(企)ポラリティイ変動モデル(1)	(企)ゲノムデータへの統計学の挑戦	分布論	(企)統計学における新しい分野開拓の試み -回顧と展望-

9月5日
9:00 10:30
10:40 12:10
12:10 13:10
13:10 15:00
15:10 17:10
17:10 17:30
18:00 20:00

コンベンション(4)	コンベンション(5)	コンベンション(6)					
個票データと秘匿	統計応用	医学データ解析	確率モデル(1)	経済経営統計(1)	推定論(2)	医学統計(3)	
計量経済分析(1)	昼休み	昼休み	多変量解析(2)	昼休み	昼休み	(日本統計学会総会 学芸賞授賞式)	
(企)高次元データ解析の理論と応用	ポラリティイ変動モデル (企)Categorical Data Analysis (in English)	空間統計	判別分析	(企)統計学と会計学	漸近論	医学統計(4)	
		(企)DNAアレイデータ解析に関する統計的諸問題?			確率モデル(2)		(企)臨床評価における民族差の評価方法について

集合写真撮影
懇親会(花巻温泉・ホテル千秋閣)

9月6日
9:00 11:10
11:10 12:20
12:20 14:20
14:30 14:50

時系列解析	テクノメトリックス	計量経済分析(2)	ベイズ統計と情報量	環境データ	
昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	
(企)統計学とマーケティング	(企)ポラリティイ変動モデル(2)	計量経済分析(3)	(企)官庁統計における新たな潮流 -追跡調査、パネルデータ-	ロジスティック回帰	(企)多重比較、多重決定方式とその関連分野
					閉会式(表彰式)

(チ)チュートリアル、(シ)シンポジウム、(市)市民講演会、(企)企画セッション

9月3日(金)

G 会場 チュートリアルセミナー：データマネージメントの
プロセスとシステム — 臨床試験を例として — 13:00 ~ 15:00
企 画： 日本製薬工業協会 統計・DM 部会
座 長： 塚田 良雄 (アベンティス ファーマ株式会社)

データマネージメントのプロセス
統計担当者に渡すデータはどのように準備されるか 吉本 正 (キリンビール株式会社)

データベース構造とデータ処理
臨床試験データベースは如何に構築されるか 藤本 峰子 (日本シエーリング株式会社)

Electronic Data Capture
臨床試験データ収集に関する最近の動向 永谷 憲司 (日本イーライリリー株式会社)

G 会場 シンポジウム：事例中心に見る統計科学の現代的価値 15:15 ~ 17:15
企 画： 日本学術会議統計学研究連絡委員会
座 長： 柳川 堯 (久留米大学バイオ統計センター)

シンポジウム開催に当たって 竹村 彰通 (東大・情報理工)

新日本学術会議について 柳川 堯 (久留米大学バイオ統計センター)

金融機関における統計科学の価値 安田 裕司 (東京三菱銀行オペレーションサービス企画室)

統計科学における遺伝学の位置付け 鎌谷 直之 (東京女子医大膠原病リウマチ痛風センター)

情報社会における統計科学の役割 北川 源四郎 (統計数理研究所)

総合討論

G 会場 市民講演会：統計データが示す地域経済活性化の方策 17:30 ~ 19:30
企 画： 美添 泰人 (青山学院大), 柴田 里程 (慶應義塾大)
座 長： 美添 泰人 (青山学院大)

東北域内産業集積地における企業アンケート調査の概要 武井 安彦 (富士大学)

新事業支援強化に関するアンケート調査からわかること 熊坂 夏彦 (慶應義塾大学)

地域統計とその活用 大林 千一 (総務省統計局)

9月4日(土) 朝の部

A 会場 コンペティション実施要領の説明：コンペティション担当企画委員 宮川 雅巳

9:00 ~ 9:10

A 会場 コンペティション (1)

9:20 ~ 10:30

座 長： 柳川 堯 (久留米大学バイオ統計センター)

- | | | | |
|---|-----------------------------------|-----------------|--------------------|
| 1 | 無限ジャンプ型拡散過程の離散観測によるパラメータ推定 | 清水 泰隆* | 東大・数理・院 |
| 2 | 関数データに対する仮説検定とその比較 | 酒折 文武* | 立教大・社会 |
| 3 | Abstraction of Data Visualization | 熊坂 夏彦*
柴田 里程 | 慶應大・理工・院
慶應大・理工 |

B 会場 コンペティション (2)

9:20 ~ 10:30

座 長： 藤越 康祝 (広島大・理)

- | | | | |
|---|--|---------|--------------------|
| 1 | Stationarity and invertibility for ARMA models in view of the numerical analysis | 瀧本 太郎* | 日本学術振興会 |
| 2 | 質的選択パネルモデルの倒産分析への応用 | 赤司 健太郎* | 東大・経済研・院 |
| 3 | AdaBoost による鯨の混獲予測 | 川喜田 雅則* | 総合研究大学院大学・統計科学専攻・院 |

C会場 コンペティション (3)

9:20 ~ 10:30

座長：清水 邦夫 (慶應大・理工)

- | | | | |
|---|----------------------------------|--------------------------|---|
| 1 | リウマチ治療における糖尿病発症のリスク | 上辻 茂男*
岩谷 征子
鎌谷 直之 | 東京女子医大・膠原病リウマチ 痛風センター
東京女子医大・膠原病リウマチ 痛風センター
東京女子医大・膠原病リウマチ 痛風センター |
| 2 | Webサーバログ解析によるユーザの特徴抽出およびサイト構造の評価 | 原田 高*
南 弘征
水田 正弘 | 北大・情報・院
北大・情報
北大・情報 |
| 3 | 判別関数のクラスにおける高次元漸近展開とその応用 | 松本 智恵子* | 一橋大・経済研 |

9月4日(土) 午前の部

A会場 インターネットとコンピュータ

10:40 ~ 12:10

座長：山本 義郎 (東海大・理)

- | | | | |
|---|----------------------------------|-----------------------------------|---|
| 1 | ネットワーク接続履歴に基づく攻撃セッションの特徴解析 | 松田 卓也*
南 弘征
水田 正弘 | 北大・情報・院
北大・情報
北大・情報 |
| 2 | Webデータによる同種企業の特徴付けに関する研究 | 簡野 志保*
鎌倉 稔成 | 中央大・院
中央大・理工 |
| 3 | データ統合環境 DandD IV | 横内 大介*
柴田 里程 | 慶應大・理工・院
慶應大・理工 |
| 4 | 統計解析システム Jasp のユーザインタフェースの拡張について | 山本 由和*
中野 純司
小林 郁典
藤原 文史 | 徳島文理大・工
統計数理研
徳島文理大・工
東京情報大・総合情報 |

B 会場 経済時系列分析

10:40 ~ 12:10

座 長： 山本 拓（一橋大学大学院経済学研究科）

- | | | | |
|---|--|-----------------|---------------|
| 1 | レビー過程の経験尤度推定 | 国友 直人*
大和田 孝 | 東大・経済
日本銀行 |
| 2 | Estimation of diffusion coefficients with a nonparametric drift function | 庄司 功* | 筑波大・システム情報工学 |
| 3 | 共和分からの誤差に対する系列相関の検定 | 千木良 弘朗* | 一橋大・経済・院 |
| 4 | 閾値自己回帰モデルのベイズ推定 - MCMC 法を利用した計量分析 - | 砂田 洋志* | 山形大・人文 |

C 会場 分割表解析

10:40 ~ 12:10

座 長： 栗木 哲（統計数理研）

- | | | | |
|---|--|--------------------------------|---|
| 1 | グラフィカルモデルにおけるリスク感受的な決定理論 | 小林 景*
駒木 文保 | 東大・情報理工・院
東大・情報理工 |
| 2 | クロスバリデーションによるスペクトルモデルの選択 | 松田 安昌*
矢島 美寛
Tong Howell | 新潟大・経済
東大・経済
LSE・Dept. Stat. |
| 3 | Worcester's log-linear model for $I \times J \times K$ table | 布能 英一郎* | 関東学院大・経済 |
| 4 | バーガー・ブース検定について | 川口 淳*
上田 直人
柳川 堯 | 久留米大学・バイオ統計センター
九大・数理・院
久留米大学・バイオ統計センター |

D 会場 統計調査

10:40 ~ 12:10

座 長： 松田 芳郎（東京国際大学経済学部）

- | | | | |
|---|---|-----------------|------------------------|
| 1 | Predicted Mean Matching 法による年収欠側値の補定 | 岡本 政人* | 独立行政法人 統計センター(団体会員) |
| 2 | 「事業所・企業DB」の被調査履歴からみた報告負担の現状と課題 | 岩橋 正樹*
桑原 廣美 | 総務省統計局
総務省統計局 |
| 3 | 我が国における政府統計マイクロデータの利用の現状と今後の展望 | 松井 博*
武下 朋広 | 一橋大・経済研究所
一橋大・経済研究所 |
| 4 | 統計手法とその一般的なあり方及び現在、日本で展開されている「調査」に対する批判 | 吉田 信一* | 富士大学・経済 |

E 会場 官庁統計

10:40 ~ 12:10

座 長： 西郷 浩（早稲田大学政治経済学部）

- | | | | |
|---|-----------------------------|-------------------------------|--|
| 1 | 平成9年全国物価統計調査へのリサンプリング法の応用 | 西郷 浩*
舟岡 史雄
樋田 勉 | 早大・政経
信州大学・経済
群馬大・社会情報 |
| 2 | 平成9年全国物価統計調査の価格分布について | 樋田 勉*
舟岡 史雄
西郷 浩 | 群馬大・社会情報
信州大学・経済
早大・政経 |
| 3 | 二相抽出法を利用した国民生活基礎調査所得分布推定の検討 | 石井 太*
關 雅夫
西郷 浩
樋田 勉 | 厚生労働省
厚生労働省
早大・政経
群馬大学・社会情報学部 |
| 4 | Kriging による公示地価の分析 | 西郷 浩
増成 敬三* | 早大・経済
早大・経済・院 |

F 会場 推定論 (1)

10:40 ~ 12:10

座 長： 狩野 裕（阪大・基礎工）

- | | | | |
|---|--|-------------------|---------------|
| 1 | Linear equations with random variables | Tango
Toshiro* | 保健医療科学院・技術評価部 |
|---|--|-------------------|---------------|

- | | | | |
|---|--|--------------------------|-----------------------------|
| 2 | 制約条件付きのパラメータを持つガウス・マルコフモデルの Liu 推定量について | 鳥越 規央*
道家 暎幸
氏家 勝巳 | 東海大・理
東海大・理
東海大・教育研究所 |
| 3 | Adaptive parameter estimation both for robustness and efficiency | 藤澤 洋徳* | 統計数理研 |
| 4 | Maximum Likelihood Estimation from Local Moments | 寒河江 雅彦*
小暮 厚之 | 岐阜大・工
慶應大・総合政策 |

G 会場 医学統計 (1)

10:40 ~ 12:10

座 長： 上坂 浩之 (日本イーライリリー)

- | | | | |
|---|---|-----------------------------------|---|
| 1 | 臨床試験の中間解析結果に基づく被験者数再設定方法の検討 | 伊藤 隆洋*
大橋 靖雄 | 協和発酵 / 東大医
東大・医 |
| 2 | 多施設共同臨床試験における施設間差を考慮にいたした症例収集期間再推定 | 谷口 隆司*
伊藤 陽一
大橋 靖雄 | ヤクルト本社
東大・医
東大・医 |
| 3 | KLD 法による臨床試験のバランス割付の性能評価 | 遠藤 輝*
長谷 文雄
浜田 知久馬
吉村 功 | 東京理大・工・院
味の素
東京理大・工
東京理大・工 |
| 4 | Nonparametric inference of adverse events under informative censoring | 西川 正子*

丹後 俊郎

小川 真樹子 | 保健医療科学院・技
術評価部
保健医療科学院・技
術評価部
アベンティス・生物
統計データマネジメ
ント部 |

9月4日 (土) 午後の部 (I)

A 会場 統計教育

13:10 ~ 15:20

座 長： 松原 望 (上智大・外国語)

1	統計教育用マルチメディア教材の開発	久保田 貴文* 垂水 共之 笛田 薫 飯塚 誠也 柳 貴久男 藤野 友和	岡山大・自然科学・院 岡山大・環境理工 岡山大・環境理工 岡山大・法 岡山理大・総合情報 福岡女子大・人間環境
2	Excel, Solver を利用した新しい統計教育法と応用統計教育のための指針	芳賀 敏郎*	元東京理科大学
3	統計教育におけるマルチメディア教材利用の活性化 I — Web を活用した統計教育モデルの構築に向けて —	藤原 文史* 末永 勝征 酒折 文武 櫻井 尚子 村上 征勝	東京情報大・総合情報 鹿児島純心女子短期 大学・生活学科 立教大・社会 東京情報大・総合情報 同志社大・文化情報 学部設置準備室
4	統計教育におけるマルチメディア教材利用の活性化 II — マルチメディア統計事典の制作・頒布を通して —	竹内 光悦* 二宮 智子 伊藤 彰彦 三浦 由己	実践女子大学人間社 会学部 玉川大学経営学部 日本統計協会 日本統計協会
5	高校数学 B 「統計とコンピュータ」の取扱いと教科書内容の検討	宿久 洋* 松下 嘉米男 宇喜多 義昌 渡辺 美智子	鹿児島大・理 明星大・一般教育 東洋大・経済
6	平成長者データの解析	牧野 都治*	東京理大・理

B 会場 各企業によるソフトウェア紹介

13:10~15:20

座 長： 水田 正弘（北大）

1	統計解析ソフト <i>S-PLUS</i> と汎用データマイニングツール <i>Visual Mining Studio</i> の最新の機能解説	田澤 司*	株式会社 数理システム
2	<i>Excel NAG</i> 統計解析アドイン	千葉 弘*	日本ニューメリカル アルゴリズムズグ ループ株式会社
3	物理乱数生成 <i>ASIC RPG100</i> の紹介	山本 博康* 清水 隆邦*	<i>FDK</i> 株式会社
4	データ分析ソフト <i>JMP5.1.1J</i> の紹介	井上 憲樹*	<i>SAS Institute Japan</i> 株式会社 <i>JMP</i> ジャ パン事業部

- | | | | |
|---|---|--------|------------------------------|
| 5 | 統計解析ソフト「 <i>SYSTAT</i> 」 | 細井 邦彦* | 株式会社ヒューリンクス
ソフトウェアソリューション |
| 6 | マークシート自動集計ソフト「 <i>Remark Office OMR</i> 」のご紹介 | 大楠 展義* | 株式会社ハンモック
DCS 営業部 |

C 会場 MCMC の理論と応用

13:10 ~ 15:20

座 長： 大森 裕浩（東大・経済）

- | | | | |
|---|-------------------------------------|-----------------|-----------------------------|
| 1 | ノルム縮小マルコフ基底の定義と例 | 竹村 彰通
青木 敏* | 東大・情報理工
東大・情報理工 |
| 2 | Loopy Belief Propagation アルゴリズムの収束性 | 多賀 伸幸*
間瀬 茂 | 東工大・情報理工・院
東工大・情報理工 |
| 3 | 拡張アンサンブルMCMCによる分割表のサンプリング | 伊庭 幸人* | 統計数理研 |
| 4 | MCMC を用いたベイズ的な傾向スコア調整法の提案 | 星野 崇宏*
繁榊 算男 | 統計数理研・領域統計研究系
東大・総合文化研究科 |
| 5 | 2パラメータ個体間相互作用モデルによるベイズ推定 | 岡部 正浩*
種村 正美 | 総研大・複合科学・院
総研大・複合科学 |

D 会場 多変量解析 (1)

13:10 ~ 15:20

座 長： 竹村 彰通（東大・情報理工）

- | | | | |
|---|---|--------------------------|-------------------------------|
| 1 | 多変量外れ値検出法の比較 | 和田 かず美* | 総務省統計セ・研究センター |
| 2 | 多変量離散分布における共分散構造の尤度比検定 | 富田 哲治* | 広島大・原医研 |
| 3 | 非正規多変量線形モデルにおける変数選択に関する情報量規準のバアイス補正について | 藤越 康祝
柳原 宏和*
若木 宏文 | 広島大・理
筑波大・システム情報工
広島大・理 |

4	Asymptotic expansion in factor analysis and structural equation modeling under nonnormality/normality	小笠原 春彦*	小樽商大・商
5	ICA and nonnormal factor analysis	狩野 裕* 清水 昌平	阪大・基礎工 阪大・基礎工・院
6	Overcomplete Blind Source Separation for Time-series Signals	Chen Ray-Bing*	National University of Kaohsiung・Insti- tute of Statistics

E 会場 ゲノム解析

13:10 ~ 15:20

座 長： 松浦 正明（癌研究会癌研究所）

1	Changing microstructure of V3 loop of HIV-1 during asymptomatic term	渡部 輝明* 岸野 洋久 北添 康弘	高知大学・医 東大・農 高知大学・医
2	マクロアレイ実験の必要サンプルサイズに対するアレイ内繰り返し測定効果の検討	吉田 瑞樹* 伊藤 陽一 大橋 靖雄	東大・医・院 東大・医 東大・医
3	マイクロアレイを用いた任意の用量反応パターンを持つ遺伝子の探索手法の提案	伊藤 陽一* 大橋 靖雄	東大・医 東大・医
4	遺伝子発現データの教師あり射影追跡	北西 由武* 惣田 隆生 田崎 武信 竹政 伊知朗 松原 謙一 門田 守人	塩野義製薬・解析センター 塩野義製薬・解析センター 塩野義製薬・解析センター 阪大・医 奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究科 阪大・医
5	DNA 配列解析のための隠れマルコフモデルとその応用	林 謙太郎 柳川 堯*	みずほ信託銀行・年金サービス本部 久留米大・バイオ統計センター
6	Nonparametric Tests for Identifying Differentially Expressed Genes in Two-Sample cDNA Microarrays	Chen Hung*	National Taiwan University

F 会場 分布論

13:10 ~ 15:20

座 長： 種市 信裕（帯広畜産大・畜産）

- | | | | |
|---|--|-----------------|------------------------|
| 1 | 正規分布と一様分布を繋ぐ分布としての Hyperbola 分布 | 丸山 芳人*
大西 俊郎 | 東京理大・理・院
統計数理研・領域統計 |
| 2 | マルチスケール・ブートストラップ法による近似的に不偏な検定 | 下平 英寿* | 東工大・情報理工 |
| 3 | Multivariate Time Series Models on Stiefel Manifolds | 筑瀬 靖子* | 香川大・工 |
| 4 | 指数分布の一標本最良縮小予測量 | 小谷 孝一* | 東京理大・理工 |
| 5 | 3次元線形仮説における尤度比統計量の精密非心分布について | 山田 隆行* | 中央大・理工・院 |

G 会場 医学統計 (2)

13:10 ~ 15:20

座 長： 西川 正子（保健医療科学院）

- | | | | |
|---|--|--------------------------|------------------------|
| 1 | 無作為割付けの自由度について | 浜口 和人*
田崎 武信 | 塩野義製薬
塩野義製薬 |
| 2 | 十分なサンプルサイズがない抗がん剤 eP2 での、ベイズ的な意志決定法の考察 | 田中 和哲* | 日本イーライリ
リー・臨床統計室 |
| 3 | Frailty Models における予測の精度に関する検討 | 水野 佐智子*
松山 裕
大橋 靖雄 | 東大・医・院
東大・医
東大・医 |
| 4 | Biased Resampling による共変量調整 | 松井 和浩* | 万有製薬・研究開発 |
| 5 | メタ・アナリシスにおける多重性を考慮した研究のサブグループ解析 | 中西 豊支*
浜田 知久馬 | 東京理大・工・院
東京理大・工 |
| 6 | メタ・アナリシスにおける公表バイアスの補正法 | 松岡 伸篤*
浜田 知久馬 | 東京理大・工・院
東京理大・工 |

9月4日(土) 午後の部(II)

A 会場 企画セッション: 新しい教育環境における統計教育とカリキュラム
— 新時代における統計教育の標準化に向けて —

15:30 ~ 17:30

オーガナイザー: 渡辺 美智子(東洋大・経), 村上 征勝(同志社大・文化
情報学部設置準備室), 二宮 智子(玉川大・経営)

座 長: 渡辺 美智子(東洋大・経)

- | | | | |
|---|---|--------------------|---|
| 1 | 日本における統計教育の現状と課題 — バーチャル統計学部の構築に向けて — | 松原 望* | 上智大・外国語 |
| 2 | Statistical Thinking and its Development | Chris Wild* | Department of Statistics, University of Auckland, President of IASE |
| 3 | Current Status and Development Strategy of e-Learning for Statistical Education in KNOU | Taerim Lee* | Director of the e-learning center, Korean National Open University |
| 4 | New Statistics and the Statistics Lab: An innovative learning environment for statistics in the information age | Rainer Schlittgen* | Institut for Statistics and Econometrics, University of Hamburg |

C 会場 企画セッション: 医薬品開発における QT 延長の統計解析

15:30 ~ 17:30

オーガナイザー: 渡邊 裕之(万有製薬)

座 長: 岩崎 学(成蹊大・工)

- | | | | |
|---|------------------------|--------------------------|---|
| 1 | QT 延長評価の概要 | 渡橋 靖*
菅波 秀規 | 三共・臨床解析
興和・臨床解析 |
| 2 | APD 試験の施設間変動の評価 | 山田 雅之*
菅波 秀規
渡邊 裕之 | キッセイ薬品工業・
開発企画
興和・臨床解析
万有製薬・臨床解析 |
| 3 | QT 補正に関する考察 | 菅波 秀規* | 興和・臨床解析 |
| 4 | QT 延長と不整脈の関連性に関する統計的評価 | 渡橋 靖* | 三共・臨床解析 |

- 5 市販後の安全性情報収集 - シグナル検出の応用 - 松下 泰之* 三共・臨床解析

D 会場 企画セッション: ボラティリティ変動モデル (1)

15:30 ~ 17:30

オーガナイザー: 森棟 公夫 (京都大学・経済)
座長: 森棟 公夫 (京都大学・経済)

- | | | | |
|---|---|---------------------------------|--|
| 1 | An Alternative Approach to GARCH Option Pricing with Conditionally Non-Normal Innovations | Yong-Jin Kim* | 法政大学・経営 |
| 2 | ARCH 型分散変動モデルによる気温リスク・スワップの検証 | 刈屋 武昭
Tee KianHeng*
郷古 浩道 | 明治大学
京都大学・経済研
京都大学・経済・COE
研究員 |
| 3 | 金融データに関する心理的 GARCH 型モデル | 劉 慶豊* | 京都大学・経済・院 |
| 4 | Optimally Weighted Realized Volatility | 金谷 太郎* | 京都大学・経済・院 |
| 5 | レンジ及び日中データを使用した為替レートのボラティリティ予測 | 中窪 文男*
森棟 公夫 | ニッセイ基礎研究所
京都大学・経済 |

E 会場 企画セッション: ゲノムデータへの統計学の挑戦

15:30 ~ 18:00

オーガナイザー: 江口 真透 (統計数理研), 松浦 正明 (癌研究会癌研究所)
座長: 江口 真透 (統計数理研), 松浦 正明 (癌研究会癌研究所)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1 | プロテオーム・データのピーク同定について | 宮田 敏* | 癌研・ゲノムセ |
| 2 | 遺伝子発現強度データの解析 cDNA およびオリゴヌクレオチドマイクロアレイデータを用いて | 大谷 敬子*
大瀧 慈
佐藤 健一
西山 正彦
檜山 桂子 | JBIC
広島大学原医研
広島大学原医研
広島大学原医研
広島大学原医研 |
| 3 | 遺伝子発現データのグループ・アダプテストによる解析 | 竹之内 高志* | 統計数理研究所 |
| 4 | ハプロタイプブロックの同定 | 藤澤 洋徳* | 統計数理研究所 |

- | | | | |
|---|--|--------------------------|--------------------------------|
| 5 | ハプロタイプ・ブロック構築における連鎖不平衡係数と注目するハプロタイプらの累積相対頻度の関係 | 富田 誠*
竹村 亮 | JBIC
JBIC |
| 6 | ハプロタイプを基礎にしたヒトゲノム多型と表現型の関連の解析法 | 鎌谷 直之*
井上 永介
伊藤 俊和 | 東京女子医科大学
NEC ソフト
三菱総合研究所 |

F 会場 企画セッション：統計学と保険

15:30 ~ 17:45

オーガナイザー： 国友 直人（東大・経）
座 長： 大森 裕浩（東大・経）

- | | | | |
|---|--------------------------|------------------|--------------------------|
| 1 | 変額年金保険のリスク管理：現状と課題 | 松山 直樹* | 日本アクチュアリー会・明治安田生命 |
| 2 | 保険者ソルベンシー評価の国際的枠組み | 河野 年洋* | 日本アクチュアリー会・ニッセイ同和損害保険 |
| 3 | 保険業における数理技術の発展 | 田口 茂* | 東京海上火災保険 |
| 4 | 多期間ブートストラップ・リスク管理と変額年金保険 | 国友 直人*
一場 知之 | 東京大学経済学部
東京大学経済学部 |
| 5 | 分位点回帰を用いた損害保険の純保険料推定 | 竹内 一郎*
金森 敬文 | 三重大学工学部
東工大・情報理工 |
| 6 | 指定討論 | 田邊 國士*
刈屋 武昭* | 統計数理研究所
明治大学ビジネス・スクール |

G 会場 企画セッション：統計科学における新しい分野開拓の試み ―回顧と展望―

15:30 ~ 17:30

オーガナイザー： 藤越 康祝（広島大）
座 長： 藤越 康祝（広島大）

- | | | | |
|---|--------------------|--------|----------|
| 1 | 分子系統樹解析における統計科学の役割 | 長谷川政美* | 統計数理研 |
| 2 | 事業所・企業統合データによる縦断分析 | 松田芳郎* | 東京国際大・経済 |

3 最近考えている統計科学の諸問題

杉浦成昭*

中央大

9月5日(日) 朝の部

A 会場 コンペティション(4)

9:00 ~ 10:30

座長： 椿 広計 (筑波大・ビジネス科学研究科)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1 | 正則化基底展開法に基づく関数データ判別 | 荒木 由布子*
小西 貞則 | 九大・数理・院
九大・数理 |
| 2 | 「ブラウン運動+ポアソン過程」からのサンプリングに基づく最尤推定量の漸近有効性 | 村田 恵*
柴田 里程 | 慶應大・理工・院
慶應大・理工 |
| 3 | SNP タイピングデータの欠測値における多重代入法の研究 | 安藤 英一*
佐藤 泰憲
菅波 秀規
浜田 知久馬
吉村 功
吉田 輝彦

吉村 公雄 | 東京理大・工・院
東京理大・工・院
東京理大・工・院
東京理大・工
東京理大・工
国立がんセンター・腫瘍ゲノム解析・情報研究部
国立がんセンター・腫瘍ゲノム解析・情報研究部 |
| 4 | 予測の観点からみた「長期記憶モデル vs (S)ARIMA モデル」 | 片山 直也* | 一橋大・学振特別研究員 |

B 会場 コンペティション(5)

9:00 ~ 10:30

座長： 水田 正弘 (北大)

- | | | | |
|---|--|---|----------------------------------|
| 1 | ネットワーク社会に適合した社会調査法とデータ解析技法の提案 | 小野田 哲弥* | 慶應大・政策・メディア研究科・院 |
| 2 | Exploring latent structure of mixture ICA models | Mollah Md
Nurul Haque*
南 美穂子
江口 真透 | 総合研究大学院・統計科学・院
統計数理研
統計数理研 |

- | | | | |
|---|--|-----------------|----------------------|
| 3 | Analysis of Dynamic Panel with Seral Correlation | 鄭 鎬成* | 一橋大・経済研・院 |
| 4 | 離散化 Dirichlet 分布に従うパーフェクトサンプリング法 | 松井 知己
来嶋 秀治* | 東大・情報理工
東大・情報理工・院 |

C 会場 コンペティション (6)

9:00 ~ 10:30

座 長： 国友 直人 (東大・経)

- | | | | |
|---|--|-----------------|--------------------|
| 1 | Comparing Robustified Estimating Methods in Covariance Selection | 宮村 理*
狩野 裕 | 阪大・基礎工・院
阪大・基礎工 |
| 2 | MANOVA 検定統計量のグループ数が多い場合の高次元漸近展開 | 姫野 哲人* | 広島大・理・院 |
| 3 | 定常長期記憶系列の構造変化 | 山口 圭子*
田中 勝人 | 一橋大・経済・院
一橋大・経済 |
| 4 | The Class of Multiplicative Correlation Matrices | 馬場 国博*
柴田 里程 | 慶應大・理工・院
慶應大・理工 |

9月5日(日) 午前の部

A 会場 個票データと秘匿

10:40 ~ 12:10

座 長： 竹村 彰通 (東大・情報理工)

- | | | | |
|---|-------------------------------|-----------------|----------------------|
| 1 | 秘匿された多変量データにもとづく母数の推定と信頼性について | 竹田 裕一*
杉山 高一 | 中央大・21 COE
中央大・理工 |
| 2 | 疑似多項分布とその極限モデルについて | 星野 伸明* | 金沢大・経済 |
| 3 | 部分母集団の情報を用いた母集団寸法指標の推定 | 佐井 至道* | 岡山商科大・法経 |
| 4 | 孤立個体数推測のためのモデル | 渋谷 政昭* | 高千穂大・経営 |

B 会場 統計応用

10:40 ~ 12:10

座 長： 佐藤 義治（北大・情報科学）

- | | | | |
|---|---------------------------------------|--------------------------|--|
| 1 | 相関次元を用いたオーロラの判別 | 川口 淳*
北村 健太郎 | 久留米大学・パイオ
統計センター
九大・宙空環境研究
センター |
| 2 | Kernel Smoothing for Multinomial Data | 奥村 英則*
内藤 貴太 | 中国短大・情報ビジ
ネス
島根大・総合理工 |
| 3 | 一般化極値分布に関する回帰構造について | 磯貝 恭史*
片野 幸雄
宮田 健司 | 神戸大・海事科学
クボタ
クボタ |
| 4 | コーパス分析による Avoid と Escape の違いについての再考 | 熊谷 哲孝* | 富士大学・一般教育 |

C 会場 医学データ解析

10:40 ~ 12:10

座 長： 濱崎 俊光（阪大・医）

- | | | | |
|---|---|-------------------------|--|
| 1 | 糖尿病予防のための栄養教育に関するメタアナリシス | 山岡 和枝*
丹後 俊郎 | 保健医療科学院・技
術評価部
保健医療科学院・技
術評価部 |
| 2 | 死亡と脱落を考慮した QOL データの解析 | 土居 主尚*
松山 裕
大橋 靖雄 | 東大・医・院
東大・医
東大・医 |
| 3 | 社会調査による疫学的研究の可能性 - - JGSS-2002 を用いたアレルギー性疾患要因分析 | 小島 宏* | 国立社会保障・人口
問題研究所・国際関
係部 |
| 4 | 大腿骨頸部骨折における在院日数と退院時歩行能力の分析 | 縄田 和満* | 東大・工 |

D 会場 確率モデル (1)

10:40 ~ 12:10

座 長： 広津 千尋（明星大・理工）

- | | | | |
|---|---------------------------------|-----------------|--------------------------|
| 1 | 成功連の待ち時間分布 | 安芸 重雄
平野 勝臣* | 関西大・工
統計数理研 |
| 2 | Runs on a circle | 井上 潔司*
安芸 重雄 | 成蹊大・経済
関西大・工 |
| 3 | ある種の行列変数の分布について | 早川 毅* | 富士大学・経済 |
| 4 | 再発事象に対する正確な発現時間を用いたセミパラメトリックな解析 | 西島 啓二*
鎌倉 稔成 | 中央大・経営システム工学・院
中央大・理工 |

E 会場 経済経営統計 (1)

10:40 ~ 12:10

座 長： 加納 悟（一橋大学・経済研究所）

- | | | | |
|---|-------------------------------------|--------|----------------------|
| 1 | SNA 家計再評価勘定の分布統計 国民経済計算ベースの再評価損益の分布 | 浜田 浩児* | 内閣府経済社会総合研究所・情報研究交流部 |
| 2 | 四半期 GDP の推計方法変更による速報値の統計的特性について | 小巻 泰之* | 日大・経済 |
| 3 | ジャックナイフ法による季節調整済み系列の安定性診断 | 長内 智* | 早大・経済研・院 |
| 4 | 経済時系列における季節性の変化と予測のモデル | 高岡 慎* | 東大・先端研 |

F 会場 推定論 (2)

10:40 ~ 12:10

座 長： 永田 靖（早稲田大）

- | | | | |
|---|-------------------|---------|----------|
| 1 | Sieve 法による混合分布の推定 | 田中 研太郎* | 東工大・社会理工 |
| 2 | U-統計量の分散の推定について | 前園 宜彦* | 九大・経済 |

- | | | | |
|---|-------------------------------|-------------------|--------------------------------|
| 3 | 密度推定のためのブートストラップ・プラグインバンド幅選択法 | 寒河江 雅彦
山本 けい子* | 岐阜大・工
岐阜大・工 |
| 4 | 欠測値があるデータからのスペアマン順位相関係数について | 佐田富 邦博*
柳川 堯 | 九大・数理・院
久留米大学・バイオ
統計センター |

G 会場 医学統計 (3)

10:40 ~ 12:10

座 長： 大瀧 慈 (広島大・原医研)

- | | | | |
|---|--|-------------------------|--|
| 1 | コホート内症例研究における因果モデル: 曝露の寄与率を用いた評価 | 和泉 志津恵*
Cologne John | 放影研・統計
放影研・統計 |
| 2 | Nested Case Control 研究での pairwise 尤度に基づく推測 | 藤井 良宜* | 宮崎大・教育文化 |
| 3 | ノンパラメトリック成長曲線モデルの推定 | 佐藤 健一*
大瀧 慈 | 広島大・原医研
広島大・原医研 |
| 4 | 平面領域同定の検定における評価指標 | 高橋 邦彦*
丹後 俊郎 | 保健医療科学院・技
術評価部
保健医療科学院・技
術評価部 |

9月5日(日) 午後の部(I)

A 会場 計量経済分析 (1)

13:10 ~ 15:00

座 長： 大屋 幸輔 (大阪大学・経済)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1 | Does TCO account for consumer preference for reliability and country of origin in U.S. auto market | 明城 聡*
金澤 雄一郎
Stephen
Turnbull | 筑波大・システム情
報工学・院
筑波大・社工
筑波大・社工 |
| 2 | 企業物価指数におけるヘドニック法の現状と課題 | 古賀 優子* | 日本銀行 |

3	非対称行列データの新たな分解と消費者行動分析への応用	石田 実* 椿 広計	筑波大・ビジネス・院 筑波大・ビジネス
4	航空規制緩和後の割引運賃設定の価格格差	田浦 元*	立教大・経済
5	景観評価における個人差の解析	大森 宏* 羽生 和紀 山下 雅子 齋尾 乾二郎	東大・農 日大・心理 文教大学・人間科学 東大・農

B 会場 ボラティリティ変動モデル

13:10 ~ 15:00

座 長： 佃 良彦（東北大学・経済）

1	非対称性のある確率的ボラティリティモデルの混合正規分布による近似	大森 裕浩*	東大・経済
2	外生的なショックとボラティリティー	大鋸 崇*	千葉大学・法経
3	マルコフ・スイッチング GARCH モデルのベイズ推定法	里吉 清隆*	東洋大学・経営
4	Bayesian Analysis of Markov Switching Stochastic Volatility Models	柴田 舞* 渡部 敏明	東京都立大学・院 東京都立大学・経済
5	Modeling integrated volatility via marked point processes	森本 孝之*	広島大学・経済・大学院

C 会場 空間統計

13:10 ~ 15:00

座 長： 下平 英寿（東工大）

1	Echelon 解析を利用した 3 次元 Lattice データのホットスポットの検出	石岡 文生* 栗原 考次	岡山大・自然科学・院 岡山大・環境理工
2	変換ガウス確率場モデルの局所漸近混合正規性	清 智也*	東大・情報理工・院
3	空間点過程におけるマークの標本分散に対する閾値法について	坂口 隆之* 間瀬 茂	東工大・情報理工・院 東工大・情報理工

- | | | | |
|---|--|----------------|----------------|
| 4 | Estimation of parameters for the Neyman-Scott's spatial cluster model | 田中 潮*
尾形 良彦 | 総研大・院
統計数理研 |
| 5 | Residual analysis of space-time branching processes for earthquake occurrences | 庄 建倉*
尾形 良彦 | 統計数理研
統計数理研 |

D 会場 多変量解析 (2)

13:10 ~ 15:00

座 長： 宿久 洋 (鹿児島大・理)

- | | | | |
|---|---|------------------------------|------------------------|
| 1 | 判別分析における極大不変統計量の分布の漸近展開とその応用 | 若木 宏文* | 広島大・理 |
| 2 | 自己類似性に基づく非対称クラスタリング | 佐藤 美佳* | 筑波大・システム情報工学研究科 |
| 3 | Variable Combinations to Enhance the Accuracy in Classification Trees | Nurma
Midayanti*
栗原 考次 | 岡山大・環境理工・院
岡山大・環境理工 |
| 4 | 関数データ解析による動作軌跡曲線の同時推定 | 中嶋 直樹*
鎌倉 稔成 | 中央大・院
中央大・理工 |
| 5 | スカラー応答の関数回帰分析における感度分析 | 原澤 寛浩*
笛田 薫
田中 豊 | 岡山大・院
岡山大
南山大 |

E 会場 経済経営統計 (2)

13:10 ~ 15:00

座 長： 福重 元嗣 (大阪大学・経済)

- | | | | |
|---|----------------------|--------|-------------|
| 1 | 人口構造の影響等を考慮した雇用指標の検討 | 長尾 伸一* | 総務省統計局 |
| 2 | 家計消費に見られる人口構造変化の影響 | 伊原 一* | 総務省統計研修所 |
| 3 | 都道府県の人口移動に関する特徴 | 吉岡 茂* | 立正大学地球環境科学部 |

- | | | | |
|---|-------------------------|--------------------------|--------------------------------------|
| 4 | 集計単位としての世帯概念に関する一考察 | 田中 雅行*
佐藤 朋彦
松田 芳郎 | 総務省統計研修所
東京大学社会科学研
究所
東京国際大 |
| 5 | 新しい中間主義的不平等概念とローレンツ曲線規準 | 吉田 建夫* | 岡山大・経済 |

F 会場 漸近論

13:10 ~ 15:00

座 長： 小西 貞則 (九大)

- | | | | |
|---|--|-------------------------|---|
| 1 | SNP 法による裾重密度推計の誤差収束率 | 高田 輝子* | 大阪市立大学・経営 |
| 2 | Approximation of the non-central distributions with large noncentrality parameters | 加藤 雅章*
赤平 昌文
竹内 啓 | 筑波大・理工・院
筑波大・数理物質科
学
明治学院大・国際 |
| 3 | ラムダ分布 $\Lambda_{p,q,n}$ の漸近展開近似に対する誤差限界 | 藤越 康祝*
V. V. Ulyanov | 広島大・理
Moscow State Univ.
Fac. of Comp. Math.
& Cybern. |
| 4 | プロフィール分析に関する検定統計量の分布における非正規性について | 岡本 直也* | 東京理大・理・院 |
| 5 | カイ 2 乗近似を改良する変換式とその精度 | 青嶋 誠* | 筑波大・数理物質 |

G 会場 医学統計 (4)

13:10 ~ 15:00

座 長： 松山 裕 (東大・医)

- | | | | |
|---|--|------------------------------------|--|
| 1 | 患者調査における調査票削減と標本施設の割り当てについての考察 | 寒水 孝司*
白石 亜矢子
浜田 知久馬
吉村 功 | 東京理大・工・院
東京理大・工・院
東京理大・工
東京理大・工 |
| 2 | Investigating time-varying covariate effects in longitudinal studies | 服部 聡* | 中外製薬 |

- | | | | |
|---|--|-------------------|--------------|
| 3 | Prediction of individual profile over time based on semiparametric generalized linear models | 服部 聡* | 中外製薬 |
| 4 | 条件付線型混合効果モデルに基づく経時測定データ解析 | 船渡川 伊久子*
大橋 靖雄 | 東大・医
東大・医 |
| 5 | Frailty 点過程に基づく順序付カテゴリー応答データの解析法 | 大瀧 慈* | 広島大・原医研 |

9月5日(日) 午後の部(II)

A 会場 企画セッション: 高次元データ解析の理論と応用

15:10 ~ 17:10

オーガナイザー: 若木 宏文(広島大・理)
座 長: 若木 宏文(広島大・理)

- | | | | |
|---|-------------------------------------|---------------------|--|
| 1 | 高次元漸近理論の最近の発展 | 若木 宏文* | 広島大・理 |
| 2 | 超高次元データ解析としての関数クラスター分析法について | 水田 正弘* | 北大・情報 |
| 3 | 分子進化・集団遺伝学の高次階層モデル: MCMC 標本と周辺尤度最大化 | 岸野 洋久* | 東大・農生 |
| 4 | Analyzing High-Dimensional Data | Muni S. Srivastava* | Dept. of Statistics,
Univ. of Toronto |

B 会場 企画セッション: Categorical Data Analysis (in English)

15:10 ~ 17:10

Organizer: HONG, Chong Sun(SungKyunKwan Univ.)
and TAKEMURA, Akimichi(Univ. of Tokyo)
Chair: TAKEMURA, Akimichi(Univ. of Tokyo)

- | | | | |
|---|--|----------------------|----------------------------------|
| 1 | Suppression and Collapsibility for Log-Linear Models | HONG,
Chong Sun* | SungKyunKwan
University |
| 2 | Test of Equality of Odds Ratios between Dependent Contingency Tables | MIYAKAWA,
Masami* | Tokyo Institute of
Technology |
| 3 | Bootstrap Tests for Independence in Two-way Ordinal Contingency Tables | JHUN, Myoungshic* | Korea University |

C会場 企画セッション: DNA アレイデータ解析に関する統計的諸問題 2

15:10 ~ 17:10

オーガナイザー: 樋口 知之(統計数理研), 井元清哉(東大・医科研)
 座 長: 樋口 知之(統計数理研), 井元清哉(東大・医科研)

- | | | | |
|---|------------------------------------|---|---|
| 1 | マルチスケール・ブートストラップ法のマイクロアレイ解析への応用 | 鈴木 了太*
上村 健
下平 英寿 | 東工大・情報理工
東工大・情報理工
東工大・情報理工 |
| 2 | カ - ネル正準相関分析による複数の異質なゲノムデータの解析 | 山西 芳裕*
Jean-Philippe
Vert
金久 實 | 京大・化研
Ecole des Mines de
Paris
京大・化研 |
| 3 | マイクロアレイデータと遺伝子の進化情報に基づく遺伝子ネットワーク推定 | 玉田 嘉紀*
坂内 英夫
井元 清哉
片山 俊明
宮野 悟 | 京大・化研
東大・医科研
東大・医科研
東大・医科研
東大・医科研 |
| 4 | 混合因子分析法による遺伝子発現パターンの分類 | 吉田 亮*
樋口 知之
井元 清哉 | 総研大
統計数理研
東大・医科研 |

D会場 判別分析

15:10 ~ 17:10

座 長: 栗原 考次(岡山大)

- | | | | |
|---|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1 | 判別分析におけるクロスバリデーションの信頼性 | 中西 寛子* | 成蹊大・経済 |
| 2 | 単調欠測値データに基づく線形判別関数と誤判別確率 | 藤越 康祝
神田 隆至* | 広島大・理
広島工大・工 |
| 3 | ニューロ判別モデルとブートストラッピング | 辻谷 将明* | 大阪電通大・総合情報 |
| 4 | 判別問題における動径基底関数のパラメータ推定 | 島村 徹平*
小宮 由里子
水田 正弘 | 北大・情報・院
北大・情報
北大・情報 |
| 5 | モーメント法の可積分条件と多値判別の損失関数 | 金森 敬文* | 東工大・情報理工 |

E会場 企画セッション: 統計学と会計学

15:10 ~ 17:10

オーガナイザー: 竹内 恵行 (大阪大学・経済)
座 長: 竹内 恵行 (大阪大学・経済)

- | | | | |
|---|-----------------------|-----------------|-----------------------|
| 1 | ファイナンス・会計の実務と統計学 | 仁科 一彦* | 大阪大・経済 |
| 2 | 実証的会計学と統計学: 資本市場と利益管理 | 山本 昌弘* | 明治大・商 |
| 3 | 財務データの特性と統計分析上の留意点 | 木村 史彦*
浅野 信博 | 名古屋市大・経済
追手門学院大・経営 |
| 4 | 統計学からみた会計学研究 | 竹内 恵行* | 大阪大・経済 |

F 会場 確率モデル (2)

15:10 ~ 17:10

座 長: 鈴川 晶夫 (北大・経済)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1 | Exogeneity under nonnormality | 程島 次郎* | 名古屋市大・経済学
研究科 |
| 2 | On trend estimation for discretely observed SDE | 増田 弘毅* | 九大・数理 |
| 3 | Ranking Patterns of the Unfolding Model and Arrangements | 紙屋 英彦*
Peter Orlik

竹村 彰通
寺尾 宏明 | 岡山大・経済
University of Wis-
consin・Department
of Mathematics
東大・情報理工
都立大・数学 |
| 4 | One-sided variations on interval trees | Hosam Mah-
moud*
伊藤 栄明 | The George Wash-
ington University
統計数理研 |
| 5 | The Gumbel distribution for a stochastic model for solitons | 伊藤 栄明*
Hosam Mah-
moud
高橋 大輔 | 統計数理研
The George Wash-
ington University
早稲田大学 |

G 会場 企画セッション: 臨床評価における民族差の評価方法について

15:10 ~ 17:10

オーガナイザー： 鍵村 達夫（日本ベーリンガー）
 座 長： 上坂 浩之（日本イーライリリー）

1	ICH-E5 と日本におけるブリッジング開発の現状	野村 寿*	第一製薬
2	再現確率アプローチによるブリッジングの考察	八木 伸高*	日本ベーリンガー
3	交互作用アプローチによるブリッジングの考察	古川 泰伸*	協和発酵
4	ブリッジング開発において証明すべきもの	鍵村 達夫*	日本ベーリンガー
5	指定討論	濱崎 俊光*	阪大・医学部

9月6日（月） 午前の部

A 会場 時系列解析

9:00 ~ 11:10

座 長： 川崎 能典（統数研・予測制御）

1	Innovation approach to extracting connectivity information from fMRI time series	Galka Andreas* Ozaki Tohru Bosch-Bayard Jorge Yamashita Okito	統計数理研 統計数理研 Cuban Neuroscience Center 統計数理研
2	多変量ダイナミックシステムにおける動的なノイズ源の検出	田野倉 葉子* 北川 源四郎	総研大・統計科学専 攻・院 統計数理研
3	ガウス和フィルターのアルゴリズムについて	北川 源四郎*	統計数理研
4	時系列における離散時間 ARMA モデルの連続時間 ARMA モデルへの埋め込みについて	藤井 光昭*	中央大・研究開発機構
5	Application of Dynamic Poisson Models to the Cancer Mortality Data in Japan	緑川 修一* 宮岡 悦良	東京理大・数学・院 東京理大・数学
6	Modifying the Box-Cox transformation in a stationary time series set-up	寺坂 崇宏* 細谷 雄三	小樽商大・商 東北大・経済

B 会場 テクノメトリックス

9:00 ~ 11:10

座 長： 宮川 雅巳（東工大）

- | | | | |
|---|-------------------------------------|-----------------|-------------------------|
| 1 | 競合危険モデルにおけるハザード関数の推定 | 鈴川 晶夫* | 北大・経済 |
| 2 | 二値観測寿命試験のための逐次試験計画に関する一考察 | 山本 渉*
鈴木 和幸 | 電通大・システム工
電通大・システム工 |
| 3 | 2 因子交互作用と 3 因子交互作用に対する検索可能計画の構成 | 末次 武明*
白倉 暉弘 | 神戸市立高専・一般科
神戸大・発達科学部 |
| 4 | 2 つの正規母集団の母平均に順序制約がある場合の個々の母平均の推定問題 | 大野 洋平*
篠崎 信雄 | 慶應大・理工・院
慶應大・理工 |
| 5 | 分割された変量に基づく 2 母平均ベクトルの差の群逐次検定 | 中村 智洋*
道家 暎幸 | 東海大・理・院
東海大・理 |
| 6 | 正規母平均ベクトルの多重比較におけるベイズ法に基づく同時信頼域の構成 | 今田 恒久*
道家 暎幸 | 九州東海大・工
東海大・理 |

C 会場 統計原理と生存統計

9:00 ~ 11:10

座 長： 柴田 里程（慶應大・理工）

- | | | | |
|---|-------------------------|-----------------|-----------------------------|
| 1 | 設計科学の源流としての実験計画と検定 | 柳本 武美* | 統計数理研・領域統計研究系 |
| 2 | 仮説検定に蹂躪された有意性検定 | 柴田 義貞* | 長崎大・医歯薬学総合研究科 |
| 3 | 未知数記号 を完全情報を見る前と読む情報の議論 | 越智 教文* | 姫路獨協大学・経済情報学部 |
| 4 | 夏目金之助の統計科学 - その前後関係 - | 椿 広計*
椿 美智子 | 筑波大・ビジネス
電通大・システム |
| 5 | 生存統計による超高齢者寿命分布の解析 | 華山 宣胤*
渋谷 政昭 | 尚美学園大学・芸術情報学部
高千穂大学・経営学部 |

D 会場 計量経済分析 (2)

9:00 ~ 11:10

座 長： 谷崎 久（神戸大学・経済）

- | | | | |
|---|---|-----------------|--------------------------------------|
| 1 | Has the Business Cycle changed in Japan? | 渡部 敏明
内山 博邦* | 都立大・経済
都立大・経済 |
| 2 | 株価収益率の GH 分布モデルによるオプション価格評価 | 前川 功一
朱 涵明* | 広島大・社会科学研
究科
広島大・社会科学研
究科・院 |
| 3 | Bayes Analysis of Co-integrated VAR Systems with Multiple Structural Breaks | 杉田 勝弘* | 一橋大・経済 |
| 4 | 地域別の失業構造について | 内藤 麻衣子* | 総務省統計局 |
| 5 | ジョブ・マッチングの効率性に与えるジョブ・サーチ経路の影響 | 阿部 正浩*
戸田 淳仁 | 獨協大学
慶應大学 |
| 6 | 通勤時間に注目してみた共働き夫婦の通勤・家事・育児分担に関する分析 | 菅 幹雄* | 東京国際大・経済 |

E 会場 ベイズ統計と情報量

9:00 ~ 11:10

座 長： 倉田 博史（東大・総合文化研究科）

- | | | | |
|---|--|-----------------|--------------------------|
| 1 | OU 過程における連続観測と離散観測 | 藤井 孝之*
稲垣 宣生 | 阪大・基礎工・院
阪大・基礎工 |
| 2 | 曲指数型分布族の共役解析における 2 つのピタゴラス関係 | 大西 俊郎*
柳本 武美 | 統計数理研・領域統計
統計数理研・領域統計 |
| 3 | プロパーな事前分布を用いたポアソンモデルのベイズ同時予測 | 駒木 文保* | 東大・情報理工 |
| 4 | 安定分布の情報量と最尤推定、検定に関して | 松井 宗也*
竹村 彰通 | 東大・経済研・院
東大・情報理工 |
| 5 | モデルが間違っている場合のブートストラップ予測とベイズ予測 | 伏木 忠義* | 統計数理研・調査実
験解析研究系 |
| 6 | エントロピー損失の下での順序制約がある 2 つのガンマ分布の尺度母数の逆数の推定 | 張 元宗*
篠崎 信雄 | 目白大・人文
慶應大・理工 |

F 会場 回帰と平滑化

9:00 ~ 11:10

座 長： 中西 寛子 (成蹊大)

- | | | | |
|---|--|-----------------|-------------------------|
| 1 | シミュレーションによる最深回帰推定量の性能評価 | 藤木 美江*
白旗 慎吾 | 阪大・基礎工・院
阪大・基礎工 |
| 2 | 回帰分析における Suppression の解釈 | 田中 浩光* | 愛知学院大・経営 |
| 3 | ロバスト回帰における τ -推定量のバイアス-ロバストネスについて | 安藤 雅和* | 日本学術振興会 |
| 4 | 正則化局所尤度法に基づくモデリング | 野中 美佑*
小西 貞則 | 久留米大・バイオ統計センター
九大・数理 |
| 5 | 局所平均二乗誤差にもとづく平滑化パラメータ選択 | 島津 秀康*
柴田 里程 | 慶應大・理工・院
慶應大・理工 |
| 6 | 局所的なモデル合成による平滑化 | 竹澤 邦夫* | 農業技術研究機構・中央農業総合研究センター |

G 会場 環境データ

9:00 ~ 11:10

座 長： 清水 邦夫 (慶應大・理工)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1 | 時空間統計モデルの水産科学への応用について | 甫喜本 司*
清藤 秀理
齊藤 誠一
藤井 光昭 | 北大・大学院水産科学
北大・大学院水産科学
北大・大学院水産科学
中央大 |
| 2 | 混獲されたサメの数の解析 | 南 美穂子* | 統計数理研 |
| 3 | 脳波と磁気共鳴画像同時測定データにおける血流動態応答関数のセミパラメトリック解析 | 三分一 史和*
Pedro Valdes-Sosa
水原 啓暁
王 力群
小林 宏一郎
山口 陽子 | 理研・脳科学総合研究センター
Cuban Neuroscience Center
理研・脳科学総合研究センター
東京電機大学・先端工学研究所
岩手大学・工
理研・脳科学総合研究センター |

- | | | | |
|---|---------------------------------------|--------------------------|-------------------------------|
| 4 | 超音波風速計と大気中物質濃度の並行計測による地表への移送フラックスの推定 | 松本 幸雄*
内山 政弘
須賀 伸介 | 国立環境研究所
国立環境研究所
国立環境研究所 |
| 5 | PCB 類やダイオキシン類などの、一部欠測値が存在するトータル曝露影響評価 | 中尾 裕之*
藤井 良宜 | 宮崎大・医
宮崎大・教育文化 |
| 6 | 環境測定濃度に対する未知汚染発生源の寄与率の推定 | 柏木 宣久* | 統計数理研 |

9月6日(月) 午後の部

A 会場 企画セッション：統計学とマーケティング

12:20 ~ 14:20

オーガナイザー： 照井 伸彦（東北大・経済）
座 長： 和合 肇（名大・経済）

- | | | | |
|---|---|-----------------------------|-------------------|
| 1 | マーケティングと統計：価格閾値の推定とカスタマイゼーション戦略 | 照井 伸彦*
ウィラワン・ド
ニ・ダハナ* | 東北大・経済
東北大院・経済 |
| | 討論者：近藤 文代（筑波大・社工） | | |
| 2 | POS データからの特別陳列実施有無と時変価格効果の新しい推定法 | 佐藤 忠彦*
樋口 知之 | (財)流通経済研究所
統数研 |
| | 討論者：大屋 幸輔（大阪大・経済） | | |
| 3 | An Application Study of the Situation Marketing on Station Billboard Advertisements | 大西 浩志* | (株)ビデオリサーチ |
| | 討論者：川崎 能典（統数研） | | |
| 4 | 空間特性を考慮した潜在クラスモデルによる商圈分析 | 里村 卓也* | 大阪大・経済 |
| | 討論者：山口 類（九州大） | | |

B 会場 企画セッション：ポラティリティ変動モデル(2)

12:20 ~ 14:20

オーガナイザー： 森棟 公夫（京都大学・経済）
座 長： 渡部 敏明（都立大・経済）

1	Estimation of Stochastic Volatility Models: An Approximation to the Nonlinear State Space Representation	佃 良彦* 島田 淳二	東北大学・経済 青山学院大学
2	Bayesian analysis of a hidden Markov mixture of GARCH processes	中妻 照雄	慶応大学経済
3	Volatility Transmission between Japan, US and UK	谷崎 久志*	神戸大学・経済
4	Multi-move Sampler for an Asymmetric Stochastic Volatility Model	渡部 敏明* 大森 裕浩	東京都立大学・経済 東京大学・経済

C 会場 企画セッション：効力比による実験データの解析

12:20 ~ 14:20

オーガナイザー： 高橋 行雄（中外製薬（株）臨床解析部）
座 長： 高橋 行雄（中外製薬（株）臨床解析部）

1	効力比の統計の必要性	高橋 行雄* 芳賀 敏郎	中外製薬（株）臨床 解析部 元東京理科大学
2	非線形回帰モデルを用いた生物検定法の活用 - 変異原性をみる細胞実験データを用いて -	杉本 忠則* 富山 茂巳	大日本製薬（株）生 物統計室 呉羽化学工業（株） 生物医学研究所
3	シグモイド曲線状になる実験データの生物検定法 — 平行な場合，平行でない場合 —	杉山 公仁* 山田 雅之	昭和薬品化工（株） 開発研究部 キッセイ薬品工業 （株）開発企画部

D 会場 計量経済分析 (3)

12:20 ~ 14:20

座 長： 吉田 あつし（筑波大学・システム情報工学）

1	Spatial Clustering of Housing Construction in the Tokyo Metropolitan Area	吉田 あつし*	筑波大・システム情 報工学
2	間接的に計測される預金・貸出サービス価格の推計手法について	大森 徹*	日本銀行・調査統計局

- | | | | |
|---|---|--------------------------|---|
| 3 | 戦後日本における金融機関の産業間資金配分と資本市場の資金配分 | 武井 安彦*
寺西 重郎 | 富士大学・経済
一橋大・経済研 |
| 4 | 企業財務データのデータ・エディティング — ハイブリッド解析法の適用による解析 — | 浅野 美代子*
八重倉 孝
椿 広計 | 大東文化大学・法
法政大・経営
筑波大学大学院・ビ
ジネス科学研究科 |
| 5 | 町村・合併協議会などによる住民意識調査の実施状況 | 山田 茂* | 国土館大・政経 |

E 会場 企画セッション：官庁統計における新たな潮流 — 追跡調査，パネルデータ —

12:20 ~ 14:20

オーガナイザー： 會田 雅人（総務省統計局）
座 長： 會田 雅人（総務省統計局）

- | | | | |
|---|--------------------------------------|--------|-----------------|
| 1 | リンクしたマイクロデータによる雇用のパネル分析 - 現状と今後の展望 - | 早見 均* | 慶応大学・商 |
| 2 | 事業所・企業統計調査における調査対象の把握について | 寺田 俊弘* | 総務省・統計局 |
| 3 | 21世紀出生児縦断調査を用いた出生前後の就業変化に関する統計 | 村山 令二* | 厚生労働省・統計情
報部 |
| 4 | 企業活動基本調査及び事業所ベースのパネル分析事例 | 高橋 睦春* | 経済産業省・調査統
計部 |

総合討論：松田 芳郎（東京国際大学），美添 泰人（青山学院大学）

F 会場 ロジスティック回帰

12:20 ~ 14:20

座 長： 丹後 俊郎（国立保健医療科学院）

- | | | | |
|---|---|-----------------|------------------------------|
| 1 | ロジスティック回帰分析における推定量の分布の近似について | 種市 信裕*
関谷 祐里 | 帯広畜産大・畜産
北海道教育大・教育 |
| 2 | A Study on Decision Tree for ZIP Response and Its Application | 李 聖鍵* | 中央大・理工・院 |
| 3 | ロジスティック回帰における最尤推定量の性質と精確なロジスティック回帰への近似 | 大倉 征幸*
鎌倉 稔成 | 中央大・経営システ
ム工学・院
中央大・理工 |

- | | | | |
|---|--|------------------------------------|---|
| 4 | Use of penalized likelihood for regression analysis of ordered categorical response data | 栗林 和彦*
大瀧 慈
後藤 昌司 | 日本イーライリリー株式会社
広島大・原医研
医学統計研究会 |
| 5 | 時系列回帰モデルを基礎とした乳幼児と親の音声基本周波数パターン分類 | 加藤 比呂子*
谷口 正信
中谷 智広
天野 成昭 | NTT・コミュニケーション科学基礎研
早大・理工
NTT・コミュニケーション科学基礎研
NTT・コミュニケーション科学基礎研 |

G 会場 企画セッション：多重比較，多重決定方式とその関連分野

12:20 ~ 14:20

オーガナイザー： 広津 千尋（明星大・理工），鎌倉 稔成（中央大・理工）
座 長： 広津 千尋（明星大・理工），鎌倉 稔成（中央大・理工）

- | | | | |
|---|---|----------------|---------------------|
| 1 | 脳画像データの解析における多重比較の新しい問題 | 鎌倉 稔成* | 中央大・理工 |
| 2 | 多重比較法における検出力とサンプルサイズ的设计 | 永田 靖*
岩井 秀明 | 早稲田大・理工
早稲田大・大学院 |
| 3 | 非劣性，同等性，優越性検証を統合する多重決定方式 | 広津 千尋* | 明星大・理工 |
| 4 | What can be learned about false discovery rates from very large problems? | Benjamini, Y.* | Telaviv University |

閉会式

G 会場

14:30 ~ 14:50

表彰式： 2004 年度統計関連学会連合大会最優秀報告賞，同優秀報告賞

大会閉会の辞：	日本計量生物学会会長 柳川 堯 日本統計学会会長 藤越 康祝 応用統計学会会長 清水 邦夫
---------	---

助成

(財)日本統計協会。

統計関連学会連絡委員会：

広津 千尋(明星大), 岩崎 学(成蹊大), 岡太 彬訓(立教大), 国友 直人(東大), 栗木 哲(統計数理研), 佐藤 義治(北大), 柴田 里程(慶應大), 竹村 彰通(東大), 田澤 司(数理システム), 田村 義保(統計数理研), 垂水 共之(岡山大), 椿 美智子(電通大), 道家 暎幸(東海大), 馬場 康維(統計数理研), 早川 毅(富士大), 林 篤裕(大学入試センター), 藤越 康祝(広島大), 水田 正弘(北大), 南 美穂子(統計数理研), 三輪 哲久(農業環境技術研), 矢島 敬二(東京理大), 柳川 堯(久留米大), 山岡 和枝(国立保健医療科学院), 渡邊 裕之(万有製薬)。

実行委員会：

早川 毅(富士大), 岩崎 学(成蹊大), 国友 直人(東大), 佐藤 整尚(統計数理研), 中西 寛子(成蹊大), 広津 千尋(明星大), 和合 肇(名大)。

保育室委員会：

勝浦 正樹(名城大), 桜井 尚子(東京情報大), 佐藤 整尚(統計数理研), 船渡川 伊久子(東大), 南 美穂子(統計数理研), 宮本 暢子(東京理大), 渡辺 美智子(東洋大)。

事務局：

岩崎 学(成蹊大), 栗木 哲(統計数理研), 佐藤 整尚(統計数理研), 田村 義保(統計数理研), 椿 美智子(電通大), 中西 寛子(成蹊大), 濱崎 俊光(阪大), 南 美穂子(統計数理研)。

企画委員会：

柴田 里程(慶應大), 會田 雅人(総務省統計局), 岩崎 学(成蹊大), 倉田 博史(東大), 福重 元嗣(阪大), 藤原 文史(東京情報大), 水田 正弘(北大), 宮川 雅巳(東工大), 宿久 洋(鹿児島大), 山岡 和枝(国立保健医療科学院), 吉田 信一(富士大), 渡邊 裕之(万有製薬)。

2004 年度 統計関連学会 連合大会 プログラム

2004 年 7 月 7 日

編集・発行：2004 年度統計関連学会連合大会企画委員会

〒106-8569 東京都港区南麻布 4-6-7 統計数理研究所気付